



Showa Day：授業アイデア (簡単版)

昭和の日をテーマにした英語の授業アイデア 5本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 祖父母インタビュー：Life in the Showa Era

中学・30分

🌀 過去形の疑問文を使って、昭和の暮らしについて英語でインタビュー原稿を作り、発表できる。

1. What did you eat? / What did you play? / Did you have a TV? などの質問を英語で5つ作る。
2. 連休中に家族や地域の人に日本語でインタビューし、答えをメモする。
3. 答えを英語の過去形で3～5文にまとめる。
4. クラスで発表し、「昭和の暮らし」と「今の暮らし」の違いを黒板に整理する。

2. 4つの名前を年表にしよう

中学・20分

🌀 年号と出来事を英語で言えるようにし、4月29日の名前の変化を理解する。

1. 1927 / 1948 / 1989 / 2007 のカードと、4つの名前のカードを配る。
2. ペアで正しく組み合わせ、年表に並べる。
3. In 1989, April 29 became Greenery Day. の形で1人1文を言う。
4. なぜ名前が変わったのかを、日本語と英語で1文ずつまとめる。

3. 世界の「誕生日の祝日」くらべ

高校・45分

🌀 オランダ・タイ・アメリカ・インドの例と比べ、日本の昭和の日の特徴を英語で説明できる。

1. compare の表を読み、各国の祝日の名前・日付・理由を英語で表にまとめる。
2. グループで1か国を担当し、さらにくわしく調べる。
3. Japan is similar to ～ because ～. / Japan is different from ～ because ～. で比較文を書く。
4. グループごとに2分で発表し、最後に全体で共通点を話し合う。

4. 昭和の名発明を英語で紹介

小学校・20分

🌀 昭和に生まれたものの絵を見て、英単語と簡単な文で紹介する。

1. 新幹線・インスタントラーメン・カラーテレビなどの絵カードを見せる。
2. This is a bullet train. のように英語で名前を言う練習をする。
3. 好きなものを1つ選び、I like ～. と発表する。
4. 昭和の日はこうしたものが生まれた時代をふり返る日だと伝える。

5. 祝日と国の記憶：ディベート

大学・60分

🌀 祝日が国の記憶をどう形づくるかを、法律の文言と立法過程をもとに英語で議論する。

1. advanced の英文と祝日法の趣旨を読み、キーワード (look back on, recovery, future) を確認する。
2. 立法の経緯 (2000年・2003年の廃案、2005年の成立) を英語で要約する。
3. Should national holidays be named after eras or people? について賛否に分かれて準備する。
4. ディベートのあと、他国の例も引きながら自分の意見を200語程度の英文で書く。



1. 祖父母インタビュー：Life in the Showa Era

授業手順書（詳細版）／対象：中学／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

過去形の疑問文（What did you ~? / Did you ~?）で昭和の暮らしについての質問を作り、聞いた答えを過去形の英文3～5文にまとめて発表できる。

準備

- インタビューシート（英語の質問5つ・日本語の答えメモ・英語のまとめの欄）
- 昭和の写真（白黒テレビ、びん牛乳、新幹線など）
- このサイトの英語ページ本文の第5段落と音声
- 基本セット p.7（作文：If I could ask a person from the Showa era one question, ...）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	英語ページ本文の第5段落を聞かせ、Others ask their grandparents about life long ago, when TVs were black and white. の文を確認する。白黒テレビの写真を見せ、「昭和の子どもは何をして遊んだ?」と問いかける。	本文を聞き、昭和の暮らしについて知っていることを言う。	"Listen. TVs were black and white." "What did children play in the Showa era?" "Let's ask people who lived in that time."
展開1	10	What did you eat? / What did you play? / Did you have a TV? を例に示し、過去形の疑問文の形（did+動詞の原形）を確認する。インタビューシートに質問を5つ英語で書かせ、ペアで質問し合って練習する。	過去形の疑問文を5つ作り、ペアで読み合って形を確認する。	"What did you eat? Did you have a TV?" "After 'did,' use the base form. Eat, not ate." "Write five questions." "Practice with your partner."
展開2	6	連休中に家族や地域の人に日本語でインタビューし、答えをメモしてくるよう伝える。メモした答えを英語の過去形にする練習を、先生の作例で1つ見せる（例：祖母「給食は脱脂粉乳だった」→ My grandmother drank milk at school lunch.）。	インタビューのやり方を確認し、日本語のメモを英語にする練習をする。	"Ask your family in Japanese during Golden Week." "Write their answers in Japanese." "Then change them into English. Use the past tense."
まとめ	10	連休明けの授業で、答えを英語の過去形3～5文にまとめさせ、数人に発表させる。発表を聞きながら、「昭和の暮らし」と「今の暮らし」の違いを黒板の2列に整理する。※インタビュー前の授業と連休明けの授業に分けて行ってもよい。	インタビューの結果を英語で発表し、昭和と今の違いを整理する。	"Tell us about your interview." "My grandfather played ... when he was a child." "What is different from today?"

板書例

Life in the Showa Era

What did you eat? / What did you play? / Did you have a TV?
→ did + 動詞の原形

My grandmother played ____ when she was a child.
She had a black and white TV.

Showa（昭和）| Today（今）
____ | ____

評価のポイント

- What did you ~? / Did you ~? の形で正しく質問を作れたか。
- インタビューの答えを過去形の英文3～5文にまとめられたか。
- 昭和と今の違いを、具体的な例で発表できたか。

つまづきへの手だて

- インタビューできる相手がいない生徒には、先生や地域の方、または記事の写真を見て答えを想像する形にしようとする。
- 過去形が分からない生徒には、よく使う動詞の過去形一覧（ate, played, watched, went）を配る。
- 質問が5つ作れない生徒には、例の3つに What did you ____? の空所を2つ足した形を渡す。

発展

- 基本セット p.7 の作文 If I could ask a person from the Showa era one question, I would ask, " _____?" に取り組む。
- Discussion の問い Ask a grandparent or an older person about life in the Showa era. What surprised you most? にクラスで答える。
- 基本セット p.7 の Find Someone Who（knows someone born in the Showa era など）でクラスを歩き回って聞き合う。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第5段落）と音声
- 基本セット p.7（Find Someone Who・作文）



2. 4つの名前を年表にしよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

年号を英語で言えるようになり、4月29日の名前が天長節→天皇誕生日→みどりの日→昭和の日と変わったことを、In 19xx, April 29 became ～. の形で説明できる。

準備

- 年号カード 1927 / 1948 / 1989 / 2007（ペアに1セット）
- 名前カード Tenchosetsu（天長節） / the Emperor's Birthday（天皇誕生日） / Greenery Day（みどりの日） / Showa Day（昭和の日）
- 年表の台紙（ペアに1枚）
- このサイトの英語ページ本文の第3・第4段落と音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	年号の読み方（1927 = nineteen twenty-seven、2007 = two thousand seven）を練習する。英語ページ本文の第1段落の one spring holiday has had four names を示し、「4月29日には4つの名前があった」と伝える。	年号を英語で読む練習をする。	"How do we say this year? Nineteen twenty-seven." "And this one? Two thousand seven." "April 29 has had four names. Let's find them."
展開1	7	ペアに年号カードと名前カードを配り、本文の第3・第4段落を聞かせたあと、正しく組み合わせる年表の台紙に並べさせる。答え合わせで、1948年は祝日法ができた年であることを補う。	本文を聞いて、年号と名前のカードを組み合わせる。	"Listen to paragraphs 3 and 4." "Match the years and the names." "Put them in order on your timeline."
展開2	5	In 1989, April 29 became Greenery Day. の形を示し、1人1文ずつ、年表の1つを選んで言わせる。列ごとにリレー形式で言わせると全員が言える。	In ～, April 29 became ～. の文を1人1文言う。	"In 1989, April 29 became Greenery Day." "Choose one year and say a sentence." "Next person, please."
まとめ	5	「なぜ名前が変わったのか」を考えさせ、日本語と英語で1文ずつまとめさせる。1989年の変化は本文の people did not want to lose a holiday in Golden Week と the emperor loved plants を手がかりにする。	名前が変わった理由を、日本語と英語で1文ずつ書く。	"Why did the name change in 1989?" "People did not want to lose a holiday." "Write one sentence in Japanese and one in English."

板書例

April 29 : One Date, Four Names

1927 Tenchosetsu（天長節）

1948 the Emperor's Birthday（天皇誕生日）

1989 Greenery Day（みどりの日）← the emperor loved plants

2007 Showa Day（昭和の日） / Greenery Day → May 4

In 1989, April 29 became Greenery Day.

評価のポイント

- 年号を英語で正しく読めたか。
- 年号と名前を本文どおりに組み合わせられたか。
- 名前が変わった理由を、本文を根拠に1文でまとめられたか。

つまづきへの手だて

- 年号が読めない生徒には、2けたずつ区切って読む（nineteen / twenty-seven）ことを指で示す。
- カードの組み合わせに迷うペアには、本文の該当文に線を引かせてから並べさせる。
- 英文が言えない生徒は、名前の部分だけ言えればよいことにする。

発展

- 昭和天皇が生物学者でもあり、みどりの日の名前を決めるときに「科学の日」という案もあったことを紹介する。
- Discussion の問い April 29 has had four names. Which name do you like best? Why? に答える。
- 基本セット p.4 のクロスワード（EMPEROR・GREENERY・ERA が入っている）に取り組む。

使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第1・第3・第4段落）と音声
- 基本セット p.4（クロスワード）



3. 世界の「誕生日の祝日」くらべ

授業手順書（詳細版）／対象：高校／45分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

オランダ・タイ・アメリカ・インドの「誕生日の祝日」と比べて、昭和の日の特徴（人ではなく時代をふり返る日）を英語の比較文で説明できる。

準備

- 記事の国くらべ表（オランダ・タイ・アメリカ・インドなど。グループに1部）
- 比較表のワークシート（国・祝日の名前・日付・だれの誕生日か・今の目的の欄）
- 調べ学習用の端末（グループに1台）
- アクティビティ集 B5（国くらべ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	「4月29日はだれの誕生日？」と聞き、昭和天皇の誕生日であることを確認する。そのうえで、祝日法では昭和の日は「人を祝う日」ではなく「昭和の時代をふり返る日」とされていることを伝え、ほかの国と比べてみようと言げかける。	4月29日がだれの誕生日かを答え、昭和の日の法律上の目的を知る。	“Whose birthday is April 29?” “But by law, Showa Day is a day to look back on an era, not to celebrate a person.” “Is this the same in other countries?”
展開1	10	国くらべ表を読ませ、オランダ・タイ・アメリカ・インドの祝日について、名前・日付・だれの誕生日か・今の目的をワークシートに英語でまとめさせる。	表を読み、4か国の祝日を英語の表にまとめる。	“Read the table in your group.” “Write the name, the date, and whose birthday it is.” “What is the purpose of the day now?”
展開2	12	グループで1か国を担当し、端末でさらにくわしく調べさせる（例：アメリカの連邦祝日の正式名は「ワシントンの誕生日」だが、2月の第3月曜日なので本当の誕生日の2月22日には当たらない）。出典をメモさせる。	担当の国の祝日を調べ、記事の表にない情報を2つ見つける。	“Each group takes one country.” “Find two more facts about the holiday.” “Write down where you found them.”
展開3	6	Japan is similar to ~ because ~. / Japan is different from ~ because ~. の形で比較文を1文ずつ書かせる。	担当の国と日本の共通点・違いを英語で1文ずつ書く。	“Compare your country with Japan.” “Japan is similar to ... because” “Japan is different from ... because”
まとめ	12	各グループ2分で発表させる。最後に全体で「前の元首の誕生日が祝日として残るのはなぜか」を話し合い、日本の文化の日（明治天皇の誕生日）も同じ例であることを紹介する。	発表し、各国の共通点について意見を言う。	“Each group has two minutes.” “Why do some countries keep a past leader's birthday as a holiday?” “Culture Day on November 3 was Emperor Meiji's birthday.”

板書例

Birthday holidays around the world
 Netherlands : King's Day (April 27) ← Queen's Day (April 30)
 Thailand : December 5 (the late King Bhumibol / Father's Day)
 USA : Washington's Birthday (3rd Monday of February ≠ Feb. 22)
 India : October 2 (Gandhi)
 Japan : Showa Day (April 29) → to look back on an era

Japan is similar to ____ because ____.
 Japan is different from ____ because ____.

評価のポイント

- 国くらべ表の内容を、正しく英語の表にまとめられたか。
- 比較文で、昭和の日の「時代をふり返る」という特徴にふれられたか。
- 調べた情報に出典がそえられているか。

つまづきへの手だて

- 調べる時間が足りないグループには、記事の表の情報だけで比較文を書かせる。
- 比較文が書けない生徒には、because のあとに入れる語句（celebrate a person / look back on an era）を渡す。
- 発表が苦手な生徒には、表を指しながら読む役を割り当てる。

発展

- Discussion の問い Should a country keep holidays connected to past leaders? Compare Japan with the Netherlands or Thailand. について意見文を書く。
- 4月29日が国際ダンスデーでもあることを調べて紹介する。
- 発展英文 Remembering an Era, Not Just a Person を読む。

使う教材

- 記事の国くらべ表
- アクティビティ集 B5（国くらべ）



4. 昭和の名発明を英語で紹介

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

昭和の時代に生まれたり広まったりしたものの絵を見て英語の名前を言い、I like ～. で好きなものを紹介できる。

準備

- 絵カード（新幹線 bullet train／インスタントラーメン instant ramen／カラーテレビ color TV／白黒テレビ black and white TV など）
- 基本セット p.3 のマッチングの絵（ television・ train・ camera など）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	白黒テレビの写真を見せ、「おじいちゃん・おばあちゃんが子どものころ、テレビは白黒だった」と話す。昭和という時代があったことを伝える。	写真を見て、昔の暮らしについて知っていることを言う。	“Look. This is an old TV.” “It's black and white.” “Long ago, in the Showa era, TVs were like this.”
展開1	6	絵カードを1枚ずつ見せ、This is a bullet train. のように英語で名前を言い、くり返させる。慣れたら、カードを一瞬だけ見せて名前を当てるゲームにする。	絵を見て英語の名前をまねして言い、当てっこゲームをする。	“This is a bullet train.” “Say it with me. Instant ramen.” “What's this? Quick!”
展開2	6	好きなものを1つ選ばせ、I like ～. という練習をする。前に出てカードを持ち、I like bullet trains. のように1人ずつ発表させる（人数が多い場合はグループ内で）。	好きなものを選んで、I like ～. と発表する。	“Which one do you like?” “I like bullet trains. How about you?” “Come to the front and tell us.”
まとめ	4	「新幹線は1964年に走り始めた。こういうものが生まれた昭和という時代をふり返るのが、4月29日の昭和の日」と伝える。家の人に昭和のころの話を聞いてみようと言をかける。	昭和の日の話を聞き、家の人に昔の話を聞く約束をする。	“The bullet train started in 1964.” “April 29 is Showa Day.” “Ask your family about the Showa era.”

板書例

Showa Day (April 29)
 bullet train (1964)
 instant ramen
 color TV / black and white TV

This is a _____.
 I like _____.

評価のポイント

- 絵を見て英語の名前を言えたか。
- I like ～. で好きなものを伝えられたか。

つまずきへの手だて

- 名前が言えない子には、先生が最初の音だけ言ってヒントにする。
- 前に出るのが苦手な子は、席でカードを持ち上げて言えばよいことにする。
- 複数形がむずかしい子には I like this. でもよいとする。

発展

- 基本セット p.3 のマッチング（ television・ train など）に取り組む。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで TRAIN・PHOTO を書く。
- 家の人に聞いた「昭和のもの」を次の時間に絵で紹介する。

使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）



5. 祝日と国の記憶：ディベート

授業手順書（詳細版）／対象：大学／60分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

昭和の日の法律の文言と立法の経緯（2000年・2003年の廃案、2005年の成立）を英語で要約し、祝日を時代や人物の名前にすべきかを他国の例をふまえて英語で議論できる。

準備

- このサイトの英語ページの発展英文 Remembering an Era, Not Just a Person（印刷・人数分）
- 記事の「よくある誤解とホント」の節（祝日法の趣旨の日本語を確認するため）
- 記事の国くらべ表（オランダ・タイ・アメリカ・インド）
- ディベートの準備シートとタイマー

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	8	祝日法の趣旨「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす」を示し、発展英文の第1段落と対応させる。キーワード look back on / recovery / future を確認する。	法律の文言と英文を対応させ、キーワードの意味を確認する。	"Read the purpose of Showa Day in the law." "Find the matching words in paragraph 1." "Look back on, recovery, and future. What do they tell us?"
展開1	12	第2・第3段落を読み、立法の経緯（2000年に参議院を通過したが衆議院の解散で廃案、2003年にも同じく廃案、2005年に3度目で成立）を英語3〜4文で要約させる。なぜ時間がかかったのかを、第2段落の時代の複雑さと結びつけさせる。	立法の経緯を英語で要約し、時間がかかった理由を本文から考える。	"What happened in 2000, 2003, and 2005?" "Summarize the story in three or four sentences." "Why did the holiday not come easily?"
展開2	10	論題 Should national holidays be named after eras or people? を示し、賛成・反対に分ける。国くらべ表の他国の例（オランダの国王の日、アメリカのワシントンの誕生日など）を根拠に使うよう指示して準備させる。	立場ごとに主張と根拠を2つ以上準備し、予想される反論も考える。	"Should national holidays be named after eras or people?" "Use examples from other countries." "Think about what the other side will say."
展開3	18	立論（各3分）→作戦タイム（2分）→反論（各3分）→最終弁論（各2分）の順でディベートを行う。残りの時間で審判役の学生が判定理由を英語で述べる。	英語でディベートを行い、相手の根拠に反論する。	"The for side, please start. You have three minutes." "Now take two minutes to prepare your rebuttal." "Judges, which side was more convincing? Why?"
まとめ	12	本文の最後の文 how a society chooses what to remember を読み返させる。他国の例も引きながら、自分の意見を200語程度の英文で書かせる（書き終わらない分は課題）。	ディベートをふまえて、自分の意見を200語程度の英文で書く。	"How does a society choose what to remember?" "Write your opinion in about 200 words." "Use at least one example from another country."

板書例

Showa Day : not to celebrate a person, but to look back on an era
look back on / turbulent days → recovery / the nation's future

Showa era : about 19 years before 1945 (war) + 43 years after (democracy, growth)

2000 bill → died (lower house dissolved)

2003 bill → died

2005 third bill passed → 2007 Showa Day

Motion : Should national holidays be named after eras or people?

評価のポイント

- 立法の経緯を、年と出来事を正しく対応させて要約できたか。
- ディベートで、他国の例を根拠として使えたか。
- 意見文が200語程度で、立場と根拠が明確か。

つまづきへの手だて

- 要約が苦手な学生には、In 2000, ... / In 2003, ... / Finally, in 2005, ... の型を渡す。
- 根拠が見つからないグループには、国くらべ表のオランダとアメリカの例を使うよう助言する。
- 発言しにくい学生には、立論原稿を読む役か、時間を計る審判役を割り当てる。

発展

- このページの発展ワークシート（quiz・paraphrase・summary）に取り組む。
- Discussion の問い How should a nation remember an era that included both war and recovery? について意見を交わす。
- 文化の日（もとは明治天皇の誕生日、1927〜1947年は明治節）の名前の変化と比べる。

使う教材

- このサイトの英語ページの発展英文 Remembering an Era, Not Just a Person
- 記事の国くらべ表
- 記事「よくある誤解とホント」の節